

城戸議員（広志会）

令和3年2月19日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）募集停止の進め方について

今次の定例会において、県立安芸高等学校及び県立呉昭和高等学校の2校が令和5年度末をもって閉校とする設置管理条例の改正が上程されている。両校は、1月15日の教育委員会会議で、今年4月に入学する新入生を最後に募集停止すると決定され、公表された。

地域にとって大きな影響のある高等学校の募集停止について、なぜ、このように急な決定がされたのか、また、生徒や保護者、地域の関係者に対して、事前に理解を得ることなく、強行する必要があったのか、教育長の所見を伺う。

（答）

平成26年に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」では、活力ある教育活動を積極的に展開していくために、中山間地域以外の地域については、

- ・ 1学年4から8学級の範囲内を基本とする
- ・ 今後の生徒数の減少に対しては、1学年4から8学級規模の学校も含め、統廃合を検討する

ことといたしました。

平成元年度以降、中学校第3学年の在籍者数の減少が続き、今後も中長期的に減少が見込まれる中、これまで中山間地域以外の地域におきましては、入学定員を減じることで対応してまいりました。

こうした中、令和2年度の入学者選抜では、過去最大の定員割れが生じるなど、早急な対策が必要な状況となったことから、苦渋の決断をせざるを得ないと判断したところでございます。

なお、関係市町教育委員会とは、必要な連携を図ってきたところでございます。

また、学校関係者への説明につきましては、まだ検討中の段階で説明することで、確定していない情報が出回り、生徒・保護者や地元関係者に対して無用な不安をかき立てることを避けたいという思いから、事務局内で具体的な方針を固めた後に、直ちにお伝えすることといたしておりました。

具体的には、両校の生徒や、学校運営協議会会長、PTA会長、同窓会会

長などといった、御支援をいただいている学校関係者に対し、生徒募集停止の検討対象となっていることやその考え方について、1月15日の教育委員会会議で決定する前に説明を行いました。

公表時期につきましては、中学生が志望校を決定する前に公表すべきと考え、1月中旬に公表したものでございます。

また、保護者に対しましては、決定後に生徒を通じて文書でお伝えしたところでございます。

今後も引き続き、関係者の皆様に、生徒募集停止に至った経緯やその考え方、今後の生徒への支援の在り方について、説明してまいりたいと考えております。